

創立 40 周年に寄せて

名誉顧問 竹下 健次郎

当協会が創立 40 周年を迎えると聞いて、あれからそんなに長い年月を経たのかと喜びと驚きにわが耳を疑いました。あれからというのは、もちろん設立当時のことですが、その設立当時の思い出については『創立 20 周年記念誌』に細川巖理事長とともに詳細に述べましたので、ここでは割愛いたします。しかし、重ねて一言だけ申し述べたいことは、当協会の設立に際して当時の福岡県モーターボート競走会の永島武雄会長と山田穰元九州大学総長に格別のご援助とご好意を賜ったことでもあります。永島氏には土地、建物、設備等の資金面において、また山田先生には倫理、道徳等の精神面において多大のご指導をいただきました。「財団法人の理事長は無報酬」という私の理念をご理解されて、当協会の理事長を引き受けてくださったことは私の終生忘れることのできないことでもあります。また、協会職員は「この財団は自分のものである」という理念のもとに、よくその任務を遂行し、みずから研修し、勤務してく

れたことも特記すべきことでもあります。

お陰様にて、初代理事長・山田穰氏、二代理事長・表俊一郎氏、三代理事長・細川巖氏、四代理事長・高島良正氏を経て、現理事長・持田勲氏を迎えることができました。その間、高島理事長の絶大なご尽力により、建物の改修や建設によって、現在の偉容を整えることができたことは私の望外の慶びであります。

私は一昨年、卒寿を経て、現在満 92 歳の後期高齢者となりましたが、今年の春より急に足腰が弱り、歩行も困難を覚えるようになりました。日に三回のインシュリン自己注射と月一回の輸血、それに胸にペースメーカーを装着しての生活ですので、週一回の協会詣でもできなくなり、皆様のご馨咳に接することができなくなりました。しかし、療養にこれ努め、来る記念式典には何としても出席して、この設立 40 周年の慶びを皆様とともに味わいたいと願っております。



昭和 50 年頃の玄関（現 4 号館付近）



現 4 号館（実験棟）